

2018年度事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

1. 事業成果

2018年度は、フードバンク北九州ライファゲイン設立5年目の節目の年度であり、組織的に持続可能な活動を支える基盤作りとしてファンドレイジングに本格的に取り組み始めた年度となった。方向性としては当法人への理解、支持を広げ、活動に必要な資金調達のベースができるかどうか、将来への試金石となるものであり、補助金、助成金に頼る運営から、当法人のビジョン・ミッションへの理解と支持を得る活動によって個人・法人からの継続的な支援のしくみとして、一般社団法人COMMETからファンドレイザーの久津摩氏をコンサルタントとして迎え、マンスリーサポーター制度を進めていった。

また、2年後の認定NPO法人登録申請に向けての準備は、事務局強化の中で認定NPO法人アカツキから伴走型支援としてファンドレイザーの永田氏を迎え組織基盤を盤石にする取り組みを事務局体制チェックリストに沿って行い、相当な改善が見られた。またPC上の内部フォルダーの整理など効率化が進むための指導もなされた。

フードバンク事業においては、福岡県リサイクル総合研究事業化センター共同研究プロジェクト2年目の取り組みであった。プロジェクト名は「フードバンクを活用した食品ロス削減推進プロジェクト」であり、当法人がプロジェクトリーダーを務め、NPO法人フードバンク福岡、エフコープ生活協同組合を共同研究者として進めている。2年目であった2018年度は、福岡県のフードバンクを支援する福岡県フードバンク協議会の設立を目指し、4月1日に設立した。また、福岡県に助成によって福岡県全域をカバーするフードバンク支援システムの導入、基幹システムの設計がなされ、2019年度に福岡県フードバンク協議会にて試験運用が始まることとなった

食のセーフティネットについては、当初、30団体程度(子ども家庭局、いのちネット、社協、病院等)のステークホルダーとの連携合意書の締結を目指していたが、具体的な連携項目が各団体によって異なるため実現できなかった。2019年度において再度、各団体と協議したうえ進める。株式会社サンキュードラッグの協力により、受け取り拠点の拡大モデルとして八幡東区の平野店の活用を勧め、2019年度の更なるネットワークづくりにつながる取り組みを行った。

ファミリーサポート事業においては、子ども食堂ネットワーク北九州が行政主体で設立されたことにより、食品衛生研修や情報共有が強化された。広報と子ども食堂への資金調達を兼ねたカレーフォーチルドレンも西南女学院大学にてパイロット的に開催され、今後の広がり期待が持てた。当団体が運営する子ども食堂「もがるかホーム、尾倉っ子ホーム」の学習支援モデルの試行も行った。また、地域や市内企業の協力を得るために環境未来都市推進支援事業として子ども食堂の応援BOOKならびにDVDの製作を行い今後の普及に役立てていきたい。次に地域の子ども会である「もがるかキッズクラブ」のイベントはノエビアグリーン財団助成の採択により年間7回開催することができた。次に子どもの負の連鎖を断ち切るための活動として、寄り添いグループによる定期的な子育て要支援世帯への個別面談と傾聴活動を行った。それによって食料支援から自立できる世帯も複数起こされたが、食料支援終了後も要支援世帯との

つながりを継続し、いつでも「助けて」と相談できる環境構築を検討する段階に導かれた。

普及啓発事業としては、これまで行ってきた講演会、イオン黄色レシート、ニュースレター発行に加えて、新たにマンスリーサポーターを募るブース出展として(株)井筒屋黒崎店の協力を得られたことやエフコープ折尾店での初めての広報活動など地元の企業協力が増えてきたこと。また、(株)JAMMIN とのコラボで当団体のオリジナル寄付つきTシャツの制作を行い、より多くの方々へ当団体の活動を周知することができた。

当初、2018年度は赤字予算を組んでいたが、最終的には黒字決算とすることができた。その要因は、収益としては予算を約270万円上回ったこと、経費は予算より約120万円抑えることができたことである。

収益面をていねいに見ていくと、マンスリーサポーター募集の時期が遅れたが、一般寄付を多く寄せていただき寄付額は予算より50万円減、会費は予算より若干少ない程度に抑えられた。収益を大きく伸ばすことができたのは、予算計上していなかったパナソニック助成金約200万円を得ることができたこと、北九州市からの環境未来助成金が予算より75万円多かったことなどが、主要因といえる。また、経費面をみると、基盤強化のために人件費(臨時雇賃金)を192万円計上していたが、これは執行しなかったため、業務委託費60万超(予算対比)などがあったものの、予算よりより経費を抑えることができた。

そして、2019年2月に福岡県JA共済様より車両寄贈(ハイエース、340万円)があり、固定資産が増えたため、貸借対照表も大きく改善された。しかし、今後数年間は、この車両の減価償却が負担となってくるために留意しなければならない。

	2017年度実績	2018年度計画	2018年度実績
活動費	989万円	14,576,828円	13,505,826円
食品取扱量	63トン	100トン	79.9トン
食品提供企業数	75社・団体	100社・団体	122社・団体
食品受け取り施設	74箇所	100箇所	87箇所
子育て世帯食料支援数	95世帯	95世帯	22世帯
子育て世帯支援総数			96世帯
緊急食料支援件数			196世帯

2 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
フードバンク事業	①食品関連業者及び個人から余剰食料を回収し、提供された食品を社会福祉施設及び生活困窮者の自立支援活動をする非営利団体および生活困窮者個人に提供する ※目標とする数字	通年	県内	40名	87施設 個人74世帯	3819

	<ul style="list-style-type: none"> ・食品取扱量:100トン ※達成した数字 ・食品取扱量:79.9トン ・配達施設:87カ所 ・個人配達:74世帯 				
	<ul style="list-style-type: none"> ②食品提供企業を開拓するために、福岡県と協働し、企業訪問する。 ※目標とする数字 提供企業100社 ※達成した数字 ・食品提供企業:122社 			3名	
	<ul style="list-style-type: none"> ③食品諮問委員会(FAB)において、食品提供企業との対話を通じ、フードバンク事業の発展に役立てる。 ※目標とする内容 ・参加企業10社で年一回対話 ※開催した集会 フードバンク活動推進に向けた情報交換会(2月20日) ・参加企業14社 	2/20		1名	
	<ul style="list-style-type: none"> ④フードドライブを実施し、提供された食品を社会福祉施設及び生活困窮者の自立支援活動をする非営利団体及び生活困窮者個人に提供 ※目標とする数字 ・イベント集荷:3回/年 ・その他の集荷:2回/年 ※開催実績 5/20ギラヴァンツ北九州試合 5/14~27市内一斉キャンペーン 8/25~9/9市内一斉キャンペーン 1/15~27全国一斉キャンペーン 	5/20 5/14 ~27 8/25 ~ 9/9 1/15 ~27		30名	

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
食のセーフティネット事業	① 食料支援を行っている子育て要支援家庭に対して、面談あるいは訪問をすることでニーズを把握し、実情にあった支援につなぐ	随時	県内	4名	生活に困窮している不特定多数の方	331

	② 株式会社サンキュードラッグの協力により受け取り拠点開拓 ※八幡東区の平野店をモデルに4名の要支援者が利用	毎月 10日 ～20日	サンキュー ドラッグ 平野店	4名	4名	
	③ ステークホルダー30団体程度(いのちネット、社協、生協等)との連携合意書締結 ※次年度に再度調整して実施	無				

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費 の金額 (千円)
ファミリー サポート 事業	① 八幡東区中央町商店街内の「もがるか」の運営. 月8回開催.	毎週 月・木	県内	33名	28名	4468
	② 尾倉市民センターで開設している「尾倉っ子ホーム」の運営. 月2回開催	毎月 第2・4 水曜日		60名	46名	
	③ もがるかキッズクラブ 子ども達を対象にキャンプなどのイベントを企画・主催. ・天縁ぼう 田植え体験 福岡県宗像市武丸 農家：瀧口様	6/23		7名	31名	
	・馬といっしょに磯遊び 北九州市若松区乙丸 IYOTA ホースクラブ	7/21		8名	45名	
	・わくわくサマーキャンプ in 牧の原 築上郡築城町大字寒田牧の原キャンプ場	8/10 ～ 11		8名	40名	
	・漁港水揚げ体験 福岡市西区大字西浦 西の浦港	8/26		8名	38名	
	・天縁ぼう 稲刈り体験 福岡県宗像市武丸 農家：瀧口様	10/20		8名	31名	
	・木が倒れるぞ！林業体験 北九州市小倉南区 高蔵山森林公園	11/24		4名	14名	
	・ヤッホー一日の出キャンプ 3月30日(土)～31日(日) 北九州市八幡東区天神町 恵みの家	3/30 ～ 31		8名	45名	

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)
普及啓発 事業	① 講演会および事業説明会の実施	29回	九州 内	1名	当団体の事業 に関心のある 方々	1115
	② ブース出展 ・黒崎井筒屋 12/17～19 ・エフコープ来ちやりん祭 3/9	12月 3月	市内	10名	ブース 来場者	
	③ イオン黄色いレシート	毎月	市内	10名	不特定多数	
	④ 子ども食堂応援 BOOK 製作 子ども食堂応援 DVD 製作	3月	市内	10名	子ども食堂 関係者及び 興味のある 方々 200名	
	⑤ シンポジウム 10/14(日)と2/1(金)の 2回開催	10月 2月	市内	20名		
	⑥ パンフレット、ホームページ リニューアル	3月	県内	3名	当団体の事 業に関心の ある方々	
	⑦ NewsLetter 発行 1回発行	6月		5名		
食の災害 支援事業	7月の豪雨災害によって被害を受けた大型スーパー「ラ・ムー久留米西店」からの大量食品の撤去協力の要請が入り、久留米市に向けて4トントラックをレンタルし、使用できる調味料や飲料水等をいただいた。	2回	久留 米市	3名	87施設 個人74世帯	326

メモ欄